

文化  
Culture  
歴史

### サハラ遊牧民の壁画 写真展で

アルジェリアの世界遺産タッシリ・ナジェールの一角にある「イヘーレン岩壁画」の写真展が17日、東京都中央区立郷土天文館タイムドーム明石で始まる。写真家の英 隆行さん(62)が撮った写真をほぼ実物と同じ約9センチ幅にして、かつて調査隊が作った模写も紹介。約5000年前とみられる壁画は、まだ緑豊かだったサハラ砂漠の動物や遊牧民の姿を伝える。



それぞれ巨大砂岩に描かれた約150点のうち、今回の壁画は右から左へ連続する形で構成される。遊牧民はキリンやガゼルの群れを横目に移動。ライオンを狩る姿も見られる一写真。「心の機微が感じられる構図も多い。当時の遊牧民の営みに思いをはせてもらえれば」と英さんは語る。入場無料。21日まで。10月9～13日、京都市の京都文化博物館でも開催。

毎 日 新 聞

2014年(平成26年)9月17日(水) 都内

イヘーレン岩壁画  
幅9センチ実物大再現  
きょうから写真展  
世界文化遺産にも登録されている北アフリカ、アルジェリアのタッシリ・ナジェール国

立公園にある「イヘーレン岩壁画」を、幅9センチの実物大パノラマ写真で再現した写真展が17日から、中央区明石町の「タイムドーム明石」で開かれる。イヘーレン岩壁画は

紀元前3000年ごろの制作と推定され、1969年にフランスの調査隊により発見された。草原の動物や家畜、住居の前に集う人々の姿が描写されており、新石器時代の様子を

いた岩壁画として評価を得ているという。主催者の写真家、英隆行氏が現地でも撮影した写真145枚を使って再現した。また、フランス国立自然史博物館 人類博

物館の協力を得て、調査隊の模写も展示する。21日まで、入場無料。問い合わせは英氏(hana52@osa-ka.email.ne.jp)。

東 京 新 聞

2014年(平成26年)9月11日(木曜日) ☆ 首都圏情報

◆英隆行「イヘーレン岩壁画写真展～5000年の時を超え、緑のサハラが甦る～」 17～21日、10～19時(土曜17時、最終日16時)、タイムドーム明石(中央区明石町12の1 中央区立郷土天文館6階)。☎090・8982・1112英



英隆行「イヘーレン岩壁画写真展」